

第13回独立行政法人海技教育機構契約監視委員会 議事概要

1. 日 時 令和3年6月25日(金)
2. 場 所 契約監視委員会委員及び関係者によるメール開催(メールによる書面審査方式)
3. 出席委員 (敬称略) 越水 豊 (委員長) 一般社団法人日本船主協会 海事人材部長
金井 睦美 有限責任あずさ監査法人
パートナー/公認会計士
見上 博 富山高等専門学校 名誉教授
井上 浩一 独立行政法人海技教育機構 監事

4. 議 題

- (1) 令和2年度の契約について
- (2) 令和2年度調達等合理化計画の自己評価について
- (3) 令和3年度調達等合理化計画(案)について

5. 概 要

(1) 令和2年度の契約について

今回審議対象とした令和2年4月1日から令和3年3月31日に締結した契約について、「1者応札・1者応募となったもの」、「随意契約によらざるを得ないもの」及び「委員が抽出した応札案件」について、審議されました。

○審議対象契約 133件〔内訳：物品60件、役務69件、工事4件〕

(2) 令和2年度調達等合理化計画の自己評価について

令和2年度調達等合理化計画における「2. 重点的に取り組む分野」及び「3. 調達に関するガバナンスの徹底」の自己評価について審議により了承されました。

(3) 令和3年度調達等合理化計画(案)について

令和2年度調達等合理化計画の実績を踏まえた令和3年度調達等合理化計画について審議により了承されました。

6. 主な意見等

- ・「青雲丸 船舶用燃料油の購入（大型船燃料：他 16 件）」について、2020 年の SOx 規制施行に伴い、JMETS の大型練習船の燃料は全て A 重油に切り替えて対策なされたと同っております。他船社の適合 C 重油などの需要との関連で、燃料油の応札（入札参加）に何か変化（影響）がありましたでしょうか。
→A 重油のみの購入に切り替えてから 1 年以上経過いたしますが、応札者並びに応札者数に変化や影響は感じられません。適合 C 重油の影響は特段無いように思われます。
- ・「学生寮耐震改修工事」について、一者入札となった原因は、事業者現場にあてる従業員がいないので、入札に参加できなかったとありますが、これは、どのようにして把握されたのでしょうか。複数者に確認されたのでしょうか。
→当工事においては、2 者より資料請求があり、1 者が落札いたしました。他の 1 者は入札参加に至らず、不参加理由も伺えませんでした。上記 2 者のほか、ピタコラム施工実績のある近郊 7 社へ入札参加を案内したところ、うち 2 者は従業員不足により辞退、その他 5 者は検討するとの回答でありましたが、結果的に参加に至らず、一者応札となりました。
- ・「FRAM モデルによる船長・航海士の操船安全評価に係る調査」について、調査全体を外部に委託しているのでしょうか。
→調査全体を外部委託しています。本調査は、令和 2 年度より当機構が受託している事業の中で、外部の知見を活用するべく外部委託したものです。
- ・特命随意契約ということは、これも以前からの研究テーマの継続と理解して宜しいですか。その場合、調査全体にどれ位の期間（何年間）が掛かる調査でしょうか。
→本調査は、令和 2 年度より当機構が受託した新規事業の中で行っているものであり、外部委託先は、宇宙での有人機、無人機（無人衛星等）の安全性評価について専門性の高い知見を有しており、他に類似の知見を持ち委託できる者が存在しなかったため、随意契約となりました。受託した事業は 3 年間の予定です。
- ・「気象情報提供業務の年間契約」について、気象業者は他にもあると思いますが、当該事業者が選ばれた過去の経緯を教えてください。また同じ業者を使い続けなければならない理由があれば、ご教示下さい。
→過去 11 回の一般競争入札は全て当該事業者の 1 者応札であったことから公募手続きに移行しましたが、3 回の公募手続きにおいても他社からの問い合わせや意見等がなかったことから、海技教育機構会計規程第 37 条（4）の「競争性を確保することが出来ない」と認められたため、同条により特命随意契約に移行したものです。仕様は他社も参入することができる内容ですが、過去に行った他社へのヒアリングによると、技術的なノウハウの有無や受注金額の低さから他社では受注できないという判断で入札に参加していないとのこと。以上の理由から本件は当該事業者と特命随意契約としております。

- ・「令和2年度調達合理化計画に対する自己評価」を拝見しますと、令和2年度は、会計内部監査は新型コロナ感染症拡大防止のため実施されておりません。令和3年度も会計内部監査は実施予定のようですが、引き続き新型コロナ感染症拡大防止が必要とされる中での実施にあたり、具体的な対応策は検討されておりますでしょうか。
 - 例年、会計内部監査は年度下半期に実施しておりますが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からワクチンの接種状況等を勘案し、また、他の独立行政法人等の事例を参考にしたうえで慎重に決定してまいりたいと考えております。
- ・ウェブサイトによりますと、貴機構の入札状況は入札情報サービスで公開されており、応募者にわかりやすい情報をご提供されていると思います。
 - ご評価いただき、ありがとうございます。競争性の確保に繋がるような入札環境を目指し、今後も契約情報提供の充実に努めて参ります。